

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	いそご地域づくり塾	
事業の実施者	団体等	社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会
		特定非営利活動法人夢・コミュニティ・ネットワーク
	行政	横浜市磯子区役所
事業の目的	区役所と地域や中間支援組織が協働で実施し、専門家による講義や先進的な事例の現地見学、ワークショップでの学びあいを通して、地域活動を担う区民と区職員が地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養う	
事業の内容	それぞれの好きなこと、得意なこと、これまでの経験を生かして、自分らしく地域で活動するために、学び合い、仲間づくり、イベント体験を通じて、地域活動の楽しさを実感するとともに、地域で活動するきっかけを得る。	
役割及び責任分担等	別紙のとおり	
実施期間	令和元年6月3日～令和2年3月31日	

記入日	令和2年5月25日
記入者	・団体等名： 社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 ・記入責任者 氏名： 事務局長 伊藤 学 連絡先： 045-751-0739
	・団体等名： 特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク ・記入責任者 氏名： 理事長 時任 和子 連絡先： 045-342-7879
	・部署名： 磯子区役所地域振興課 ・記入責任者 氏名： 地域振興課長 大蔭 直子 連絡先： 045-750-2390

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

① 事業計画段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	C	B

② 事業実施段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	C	B

③ ふりかえり段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・三者ともこれまでの関係性の中で互いの特性を熟知していたこと、前年度以前に「地域づくり大学事業」の実施経験があったこと、また、これまでも協働で事業を行った経験があったことから、計画の初期段階から事業目的や事業の全体像等に関して共通理解を持ってスムーズに事業計画を進めることができた。
- ・講座だけでなく、その後の活動支援まで総合的にかかわれる体制がとれた。

【今後改善が必要と思われること】

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・それぞれの役割や視点、立場から意見を出し合って、よりよい事業とした。
- ・テーマを「特技を生かした活動」に変更したことで、以前とは異なる年代（特に子育て世代）の受講につながった。
- ・自分の知識や経験を生かして地域活動に取り組む意欲のある区民にとって、具体的な活動に踏み出すためには、行政や中間支援組織の支援が重要であることを再認識した。
- ・支援にあたっては、行政・中間支援組織・専門的知識を有するNPOがそれぞれの特徴を生かして役割分担をしながら進めることが効果的である。

【今後改善が必要と思われること】

- ・オブザーバーの立場や目的等を事前に共有

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・多様な人が講座に参加した。また、これまで関わりのなかった人が新たに区民活動支援センターや地域ケアプラザ等につながる事ができた。
- ・三者がそれぞれの人脈を駆使して講座運営を行い、三者以上に幅広い団体・個人の協力を得て講座を実施できた。
- ・区の催事を活用した実地体験は、協働だからこそスムーズに実施でき、体験を通じて受講生の仲間意識が高まり、講座終了後も互いの活動を応援しあう関係が築けるなど、貴重な経験を提供できた。
- ・受講中から、区社協・地域ケアプラザのコーディネーターや区民活動支援センターの職員と顔の見える関係を築くことができ、受講後のスムーズな活動開始に結び付いた。
- ・受講生同士や過去の受講生等とのつながりが多数でき、今後の地域活動への発展が期待できる。

自由記入欄

いそご地域づくり塾 役割分担

事業項目	夢コミの役割	区社協の役割	区役所の役割
1 企画及び関係機 関連 絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座内容の企画 ・ 関係機関等との連絡調整補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座内容の企画補助 ・ 関係機関等との連絡調整補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業全体の企画 ・ 関係機関等との連絡調整
2 広報及び受講者 の募 集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項の作成 ・ ホームページ等による広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項の配布補助 ・ その他広報補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項の配布 ・ 区広報への情報掲載 ・ その他広報 ・ 申込みの取りまとめ ・ 受講者への連絡
3 講座当日運営及 び備 品等の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座資料の作成 ・ 講座の運営管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場確保補助 ・ 講座の運営補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場確保 ・ 備品等の準備 ・ 講座の運営補助
4 報告書の作成等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の作成 		<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの作成・集計
5 事業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施